



TITLE:

胃腸手術ニ際シテノ縫合術式ノ研究:特ニ逐層的粘膜粘膜・漿膜筋層漿膜筋層縫合法ニ就テ:第2報 新縫合法ニヨル臨床手術成績ニ就テ

AUTHOR(S):

賀來, 隆美

CITATION:

賀來, 隆美. 胃腸手術ニ際シテノ縫合術式ノ研究:特ニ逐層的粘膜粘膜・漿膜筋層漿膜筋層縫合法ニ就テ:第2報 新縫合法ニヨル臨床手術成績ニ就テ. 日本外科宝函 1934, 11(1): 98-114

ISSUE DATE:

1934-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/203430>

RIGHT:

胃腸手術ニ際シテノ縫合術式ノ研究

特ニ逐層的粘膜炎・漿膜筋層漿膜筋層縫合法ニ就テ

第2報 新縫合法ニヨル臨床手術成績ニ就テ

京都帝國大學醫學部外科學教室(鳥潟教授指導)

賀 來 隆 美

Erforschung über die Magendarmnähte, insbesondere über die schichtweise erfolgende muko-muköse und sero-seröse Naht.

II. Mitteilung: Vergleich der neuen Nahtmethode mit der Albertschen bezüglich der Magendarmanastomose.

Von

Dr. T. Kaku.

[Aus dem Laboratorium der I. Kais. Chir. Universitätsklinik **Kyoto**
(Prof. Dr. R. Torikata.)]

Die postoperativen klinischen Resultate der Magenresektion bei der neuen *Torikataschen* bzw. der alten *Albertschen* Nahtmethode sind in folgender Tabelle zusammengestellt.

	nach <i>Albert</i>	nach <i>Torikata</i>
Übelkeit	20%	16%
Erbrechen	37%	17%
Bauchschmerz	20%	0
Vollgefühl der Magengend	33%	2.8%
Nachblutung	30%	4.3%

Somit ist die Überlegenheit der neuen Nahtmethode gegenüber der alten nicht nur experimentell (vgl. die I. Mitteilung), sondern auch klinisch nachgewiesen.

(Autoreferat)

緒 言

余等ハ曩ニ第1報ニ於テ動物實驗ニヨリ胃腸吻合ニ際シテハ從來一般ニ應用サルル Albert 氏ニヨル第1次全層全層、第2次漿膜筋層漿膜筋層縫合ニ比シテ鳥瀉教授ノ新法即チ第1次粘膜粘膜、第2次漿膜筋層漿膜筋層縫合又ハ Goepel 氏ニヨル第1次胃粘膜腸全層、第2次漿膜筋層漿膜筋層縫合ガ肉眼の並ニ組織學の所見共ニ優秀ナルコトヲ確認セリ、故ニ本報告ニ於テ新縫合法或ハ Goepel 氏縫合法ヲ胃腸吻合ニ際シ應用シタル臨床成績ノ1部ヲ述ベント欲ス。

Albert 氏縫合法例ノ臨床記錄

胃切除ニ際シ Albert 氏縫合法ヲ施行セシ例症ノ1部ヲ一括表示スレバ次ノ如シ（自昭和2年8月至3年10月）。

第1表 Albert 氏縫合法ヲ施シタル例症

症例	姓名	年齢	性	診 斷	手 術 々 式	縫合法	術 後 ノ 經 過				轉 歸
							惡 心	嘔 吐	腹 痛	胃 膨 滿 感	
1	赤 松	36	♂	胃下垂兼 擴張症	胃 切 除 術 (BIHK+B)	Albert 氏法	第2日3日 ニ惡心アリ		第1日2日ニ 腹痛アリ	第2日3日ニ 胃部膨滿感 ヲ訴フ	第1期癒合 全 治 退 院
2	植 田	48	♀	胃 癌	胃 切 除 術 (BIHK+B)	同上		第2日咖啡 残渣樣液多 量吐出第3 日モ嘔吐	第14日激痛	第14日胃部 膨滿感アリ	第1期癒合 全 治 退 院
3	北 島	35	♀	胃 癌	胃 切 除 術 (BIHK+B)	同上			第2日腹痛 第7日8日ニ 蠕動不安アリ	第10日ヨリ 13日迄胃部 膨滿感アリ	第2期癒合 (1部) 全 治 退 院
4	時 枝	65	♀	胃 癌	胃 切 除 術 (BIHK+R)	同上	第2日惡 心	第2日暗赤 ノ液吐出 第3日嘔吐 頻發		第2日胃部 不快感ヲ訴 フ	第1期癒合 全 治 退 院
5	古 布	37	♀	胃 癌	胃亞全切除術 (BIHK+R)	同上					第1期癒合 全 治 退 院
6	上 谷	51	♀	胃 癌	胃 切 除 術 (BIHK+R)	同上	第1日惡 心	第1日ヨリ 第8日迄淡 血乃至咖啡 残渣樣液嘔 吐日々數回 宛	第1日腹痛		第1期癒合 全 治 退 院
7	櫻 井	28	♀	胃下垂症 兼擴張症	胃 切 除 術 (BIHK+R)	同上	第1日惡 心				第1期癒合 全 治 退 院
8	三 宅	43	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIHK+R)	同上					第1期癒合 全 治 退 院
9	林	56	♂	胃潰瘍	胃 切 除 術 (BIHK+R)	同上		第3日ステ ール ⁷ 樣便ヲ 排ス			第1期癒合 輕快退院
10	田 口	39	♂	胃 腸 下垂症	胃 切 除 術 (BIHK+R)	同上		第8日第9日 ニ凡1立 ノ液ヲ吐出ス		第8日ヨリ 第10日迄胃部 膨滿感アリ	第1期癒合 事故退院
11	手 塚	62	♂	幽門狹窄 胃潰瘍兼 胃下垂症	胃 切 除 術 (BIHK)	同上					第1期癒合 全 治 退 院

12	越智	40	♂	胃癌	胃切除術 (BIH)	同上	第2日珈琲 残渣様液吐 出第3日モ 赤褐色液吐 出屢々	第11日ヨリ 第25日迄胃 部膨滿感ア リ	第1期癒合 全治退院
13	室	42	♂	胃癌	胃切除術 (BIH)	同上	第2日珈琲 残渣様液吐 出		第1期癒合 全治退院
14	北居	57	♂	胃癌	胃切除術 (BI)	同上	第3日珈琲 残渣様液吐 出		第1期癒合 全治退院
15	花井	21	♂	胃下垂症	胃切除術 (BIH)	同上		第4日ヨリ 第15日迄膨 滿感アリ殊 ニ食後甚シ	第1期癒合 輕快退院
16	川島	28	♂	胃下垂症	胃切除術 (BIH)	同上	第1日夜ヨ リ第2日鮮 カケテ紅 色ノ吐血 第3日暗 赤色トナル	第8日ヨリ 第20日迄膨 滿感ヲ訴 フ	第1期癒合 輕快退院
17	橋本	51	♂	胃癌	胃切除術 (BI+R)	同上			第5日ヨリ 肺炎ヲ起シ 死亡
18	荒木	29	♀	胃癌	胃切除術 (BIK) 兼 結腸切除術	同上	第3日ヨリ 第9日ニ及 ビ珈琲残渣 様液ヲ混ゼ ル下痢便頻 數	第2日胃痛	第1期癒合 全治退院
19	田中	60	♂	胃癌	胃切除術 (BIH)	同上	第2日惡 心		第1期癒合 全治退院
20	安部	61	♂	十二指腸 潰瘍	胃十二指腸切 除術 (BIH)	同上	第2日珈琲 残渣様液吐 出數回		第1期癒合 全治退院
21	野澤	52	♂	胃癌	胃切除術 (BIW+B)	同上			1部第2期癒 合全治退院
22	池田	37	♂	胃癌	胃切除術 (BI)	同上	第3日食後 少量嘔吐	第11日空腹 時胃部鈍痛 アリ	第1期癒合 全治退院
23	末岡	62	♂	胃癌	胃切除術 (BIH)	同上	第2日珈琲 様液吐出	第8日ヨリ 第11日迄膨 滿感アリ	第1期癒合 全治退院
24	中西	45	♂	胃癌	胃切除術 (BIH)	同上			第1期癒合 全治退院
25	中川	54	♀	胃癌	胃切除術 (BI)	同上		第3日ヨリ 第6日迄膨 滿感アリ	第1期癒合 全治退院
26	山本	39	♂	胃癌	胃切除術 (BI)	同上			第1期癒合 全治退院
27	遠藤	43	♀	胃癌	胃切除術 (BIK)	同上			第6日ヨリ 腎盂腎炎ヲ 起シ遂ニ死 亡
28	岩田	42	♂	胃癌	胃切除術 (BIK)	同上	第3日惡 心		第1期癒合 全治退院
29	一ノ瀬	30	♂	十二指腸 潰瘍	胃十二指腸切 除術 (BIK)	同上			第1期癒合 全治退院
30	吉田	48	♂	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	同上			1部第2期癒 合全治退院

所見概括

術後1日乃至3日ニ惡心ヲ訴ヘタルモノハ6例(20%)。嘔吐ヲ來シタルモノハ11例(37%)ニシテ其内9例(30%)ハ鮮紅色ノ純血液乃至珈琲殘渣様トナレル陳舊血液ヲ吐出セリ殊ニ例症16ハ手術當夜9時ヨリ吐血數回アリ翌第2日正午迄續ケリ。又例症12ハ術後第2日ヨリ第3日ニ及ンデ珈琲殘渣様ノ嘔吐頻發シ1時脈搏歇滯シ危險ニ瀕シ輸血ニヨリ辛ジテ再生シタルモノナリ。

尙吐血ニハアラザルモ例症9ノ術後3日目「テール」様便ヲ排泄シタルト例症18ノ術後3日目ヨリ珈琲殘渣様液ヲ混ジタル下痢便ヲ來シ殊ニ第4日目ニハ陳舊血液様ノモノ凡200gヲ排シ其後第9日ニ及ブモ尙「テール」様便ヲ混ジタルハ注目ニ價スル所ナリ。胃痛並ニ腹痛ヲ訴ヘタルモノハ6例(20%)、胃部膨滿感ヲ訴ヘタルモノハ10例(33%)ヲ見ル。

新縫合法例ノ臨牀記錄

第1例 酒〇い〇 50歳 女 診斷 胃癌

手術 昭和3年10月15日轉歸 全治。

〔遺傳的關係〕 特記スベキモノ無シ。

〔既往症〕 10年前腎炎。

〔現病歴〕 本年7月頃ヨリ下腹部ニ緊張感アリ8月ニ至リテ上腹部ニ膨滿感起リ時々蠕動不安ヲ來シ不快ナリ、5日前ヨリ每晚嘔吐アリ吐物ハ食物殘滓ニシテ中食ノ分モ混ゼリ、臍ノ左側ヨリ下腹部ニカケ壓ニ對シ過敏ナリ、發病以來消瘦シ食慾不振、便通2—3日ニ1行、睡眠稍々惡シ 42歳以來月經閉止。

〔一般所見〕 骨骼中等大榮養稍々不良、皮膚略正常、脈搏整調強實、淋巴腺ノ腫大セルモノヲ觸レズ、顔面稍々蒼白、眼耳鼻ニ異狀ナシ、舌ニ輕白苔ヲ被ル、咽頭扁桃腺ニ特別ノ所見ナシ、只下肢ニ輕度ノ浮腫ヲ認ムル外異狀無シ。

〔局處所見〕 腹部ハ稍々膨滿シ殊ニ右側下腹部ニ於テ著明ナリ、深呼吸ニヨリ視診上何等ノ異狀ヲ見出サズ、異常ノ陰影運動ハ靜脈怒張ヲ見ズ、診察中ニ臍ノ左上部ニ於テ蠕動不安ヲ認ム。此際患者ハ不快感ヲ訴フ。

胃液検査(術前) 14/X

表層ノ觸診ニヨリ臍ノ左上部ニ抵抗ヲ觸ル深部觸診ヲナスニ劍狀突起ト臍トノ間ノ下1/3部ニテ正中線ヨリ1指横徑左ニ1ツノ腫瘤ヲ觸レ鳩卵大ニシテ弾力性軟表面ハ粗大凸凹。其ク移動シ呼吸時固定可能。腫瘤及ビ臍ヨリ左側腸骨窩部ニカケテ壓痛アリ、左側臥位ニテ腫瘤ハ正中線ヲ越エテ右側ニ動キ兩手ニテ之ヲ把握シ得。

〔尿所見〕 淡黃色不透明、弱酸性、比重1022、蛋白(—)、糖(—)、グメリン氏反應(—)、Lヂアツォール反應(—)、Lイヂンカン⁷(—)。

〔レントゲン検査〕 9/X、胃ノ形態正常ナラズ、蠕動ハ證セズ、幽門部ニ陰影缺損ヲ認ム。腫瘤(+),

〔手術〕 15/X

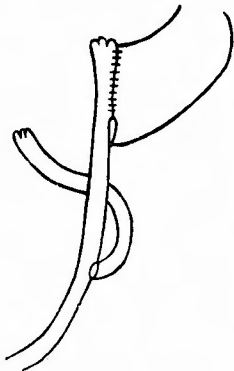
	前 液	後 液		
		30'	1st	1.5st
量	5cc	5cc	10cc	10cc
色	灰白色	灰白色	褐色	暗褐色
反 應	弱酸性	弱酸性	弱酸性	弱酸性
粘 液	+	+	+	+
粥 化		尙未	尙未	良
乳 酸	—	—	—	—
血液	「グアヤク」反應	—	—	—
	「ベンチゲン」反應	+	+	+
「コンゴローート」反應	+	+	+	+
遊 離 鹽 酸	0	0.09%	0.07%	0.1%
總 酸 度	30	40	40	30
沈 渣 — 8 聯 球 菌	+	+	+	+

術前食鹽水1000.0ㄲ「ヂガーレン」1.0ㄲ皮下注入，型ノ如ク消毒シ0.25%「ネオカイン」70ㄲニテ局處
麻酔，手術時間4時25分—8時45分(午後)。

手術方法。幽門部切除，Krönlein-Mikulicz 氏ノ變法ニヨル胃腸吻合。

手術所見。劍狀突起ヨリ臍ノ下 2.0 ㄲニ至ル正中切開ニテ開腹，腫瘤ハ幽門部ニアリテ鶏卵大ナリ彈力
性軟ニシテ粗大ナル凸凹不平ヲ呈シ幽門ハ示指頭ヲ通シ得ル程度ナリ，大彎ニ於テ大綱，腸間膜ハ腫瘍ニ
癒着シ癒痕性ニ萎縮シ爲ニ横行結腸ハ胃ノ方ニ引キヨセラレタリ，空腸モ Treitz 氏靱帶ニ近キ部分ハ腫
瘍ト癒着シ其ノ壁ハ癌腫狀ニ浸潤セリ，臍頭ハ異狀ナク硬度正常，Treitz 氏靱帶ニ近キ十二指腸ノ部分ノ
纖維性纖維素性ノ癒着ヲ切斷シ十二指腸ヲ可動性トシ胃ノ 1/4 ノ部分ニ亙リ大彎ニ沿ヒ大綱ヲ切斷スコノ
際腫瘍ト腸間膜空腸ノ癒着セル部分ニ於テハ腸間膜ハ腸間膜血管ヲ損傷セヌ様注意シテ切斷シ癒着セル空
腸ヲソノ腸間膜ノ裂口ヲ通シテ上方ニ引上ゲタリ空腸ハ癒着ノ兩側ニ於テ切斷シ肛門側ハ巾着縫合ニテ閉
鎖シ口側ハソノママ開放シ後ノ吻合ニ備フ。

胃ノ幽門部(全胃ノ約1/4)ヲ空腸ノ1部ヲ附着セシメタルママ切除ス。



十二指腸ノ斷端ハ巾着縫合ニテ閉鎖シ胃斷端ハ小彎ヨリ大彎ノ前凡4ㄲ
迄先ヅ粘膜ニミ Schmieden 氏ノ嵌入縫合ヲ施シ次ニ漿膜筋層ヲ縫合ス。
開放セル胃斷端ノ部分ト空腸ノ閉鎖セル部ヨリ10ㄲ肛門側ノ部トヲ端側吻
合ス此際縫合ハ先ヅ胃並ニ腸ノ粘膜ノミヲ縫合シ次デ漿膜筋層縫合ヲ行ヘ
リ吻合口ハ凡3横指徑アリ，十二指腸ノ先ニ開放シオケル口側端ト胃空腸
吻合ヲナセル部ヨリ凡20ㄲ肛門側ノ空腸トヲ端側吻合ス吻合口ハ2横指徑
ナリ，腸間膜ノ裂口ヲ閉ヂ腹壁ハ2層縫合ニテ手術ヲ終ル。

切除標本所見。腫瘍ハ幽門部ニアリテ主トシテ前壁ニアリ其ノ浸潤ハ大
彎小彎ヲ越エテ後壁ノ大部分ニ及ベリ幽門輪ヲ越ヘテ十二指腸ニハ達セズ
小彎ニ沿ヒ切割スルニ腫瘍ノ中央ニ直徑約4ㄲノ潰瘍ヲ認メソノ中ニ所々
ニ汚穢褐色ニ着色セル部分並ニ粘液アリ。

〔経過〕 術後一般狀態佳良，脈搏整調緊張佳良，惡心嘔吐共ニナシ。第
2日一般狀態佳良，脈搏ニ異變ナシ惡心(一)嘔吐(一)只1回少量ノ褐色ノ液ヲ吐出ス。第3日一般狀態佳良，
惡心(一)嘔吐(一)腹痛(一)。第4日一般狀態佳良，食慾佳良，惡心(一)嘔吐(一)腹部緊滿セズ。第5日一般
狀態佳良，食慾佳良，惡心(一)嘔吐(一)腹痛(一)。第6日食慾佳良，惡心(一)嘔吐(一)。第7日腹壁創拔糸
第1期癒合セリ其後異常ナク經過セシニ第11日ニ臍ノ直下ニ鳩卵大ノ發赤現ハレ同部ヲ切開排膿ス第23日
全治退院。

胃 液 檢 査 (術後) 30/X

〔術後レントゲン検査〕 27/X 胃腸吻合部ハ通過佳
良ニシテ狭窄ナシ，バリウムヲ食ハ直ニ1部ハ小腸ニ
移行ス胃ノ運動ハ僅ニ障礙サルガ如シ，胃ノ下垂
ヲ認メズ。

〔退院時所見〕 一般狀態佳良，脈搏整調強實，心臟
肺臓ニ特別ノ所見ナシ。腹部ハ正中線ニテ劍狀突起
ヨリ臍下3ㄲ迄線狀ノ癒痕アリ臍下1/3ㄲハ肉芽面ヲ
現シ肉芽佳良分泌少シ，腹部ハ特ニ膨滿セズ何處
ニモ壓痛ナシ。食後胃部ニ膨滿感無ク無症狀ナリ。
只レントゲン検査ニテ運動稍障礙サレ胃液ニ遊離鹽
酸ナシ。

	前 液	後 液
量	5cc	5cc
粘 液	+	+
色	白色濁濁	白色濁濁
反 應	弱 酸 性	弱 酸 性
「コンゴロート」反應	+	+
食 物 残 渣	+	+
血 液	—	—
乳 酸	—	—
遊 離 鹽 酸	0	0
總 酸 度	55	30

第2例 後○重○ 50歳 男 診斷 胃潰瘍。

手術 昭和4年7月5日 轉歸 全治。

〔遺傳的關係〕 腦溢血ノ他特記スベキモノナシ。

〔既往症〕 小兒ノ頃ヨリ胃弱ニテ時々腹痛アリ。13年前急性肺炎ニカカル。喫煙飲酒共ニ中等量。

〔現病歴〕 約10年前ヨリ食後2—3時間ニシテ上腹部ニ疼痛アリ吞酸嘔噎ヲ來スル發作ガ年ニ1回位アリ1週間位ニテ治スルヲ常トセリ當時ハ發作ノ時モ惡心嘔吐無ク便ノ黑着色スルコトモ無カリキ。本年3月頃ヨリ胃部ニ膨滿感ヲ來シ常ニ輕痛アリ4月10日ニ激シキ上腹部疼痛ノ發作アリ其ノ後疼痛ハ輕快セシモ膨滿感不快感去ラズ、2回嘔吐アリ吐物ニハ特ニ着色ナシ、食慾衰、睡眠ハ障礙サル便通2日ニ1行。

〔一般所見〕 骨骼中等大、榮養不良、皮膚弛緩シ稍々蒼白、皮下脂肪少シ、可視粘膜貧血甚シカラズ、淋巴腺ノ腫大セルモノヲ證セズ、脈搏整調強實、眼耳鼻ニ異狀ナシ、舌ハ灰白苔ヲ被リ齒ハ全部義齒ナリ、咽頭ニ特別ノ所見無ク頸部淋巴腺ノ腫大ナシ、心臟肺臟略正常、脊柱正、四肢ニ知覺運動障礙ナシ膝蓋腱アヒレス腱反射正常ナリ。

〔局處所見〕 腹部ハ一般ニ膨滿モセズ陷沒モセズ、蠕動不安ヲ見ズ、靜脈怒張ヤ異常ノ着色ナシ、上腹部ニモ特ニ異狀ノ膨隆ヲ認メズ、觸診上何處ニモ溫度上昇ヲ證セズ表層觸診ニテ右季肋部ニ抵抗ヲ觸ル深部觸診ニテ此ノ抵抗ハ明瞭トナルモ大體拇指頭大ナルノ外其他ノ狀態不明ナリ、壓スルニ輕痛ヲ訴フ、Boas氏ノ壓痛點ハ過敏ナラズ。

〔尿所見〕 黃色透明、弱酸性、比重1020、蛋白(—)、糖(—)、レインヂカン Γ (—)、ゲメリン氏反應(—)、ヂアツオ Γ 反應(—)。

〔レントゲン検査〕 陰影缺損ナシ Nische モ見ユズ、幽門部稍々抵抗アルモ腫瘍トシテ觸レズ且ツ壓痛ナシ、通過ハ明ニ遲延セリ、下垂著明ナリ。

胃 液 検 査 (術前)

	前 液	後 液			
		15'	30'	45'	1st
量	20cc	10cc	10cc	10cc	10cc
色	乳白濁濁	乳白濁濁	乳白濁濁	乳白濁濁	乳白濁濁
食 物 残 渣	+	+	+	+	+
粘 液	+	+	+	+	+
血 液(肉眼上)	—	—	—	—	—
潜 在 血 液	—	—	—	—	—
反 應	酸性	酸性	酸性	酸性	酸性
<u>レコンゴ</u> Γ 紅反應	+	+	+	+	+
遊 離 鹽 酸	54	37	33	34	36
乳 酸	—	—	—	—	—
總 酸 度	69	51	42	44	46

〔血液検査〕

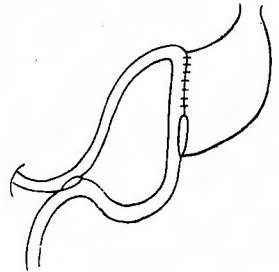
赤 血 球	4470000
白 血 球	9200
<u>レヘモグロビン</u> 含量	72% (<u>ザーリー</u> 氏法)
白血球ノ種類	
中 性 多 核	73%
大 單 核 移行型	4%
小 淋 巴 球	14.5%

大 淋 巴 球 4%
L エオデン⁷嗜好細胞 2.5%

〔手術〕 3/VII

型ノ如ク消毒シL ハントボン・スコポラミン⁷ 1.0 託, 0.25% L ネオカイン⁷ 40 託ノ局處麻酔ノ下ニ手術ス。
手術方法。胃切除, K⁷önlein-Mikulicz 氏變法ニヨル胃腸吻合, Braun 氏空腸空腸吻合併施。

手術所見。劍狀突起ヨリ臍ノ直下ニ至ル約15 糎ノ正中切開ニテ開腹スルニ腹膜ニ病的變化ナシ腹水ヲ認メズ。胃ハ強く擴張シ普通ノ2 倍大ナリ, 幽門部ハ腫瘍トナリ弾力性硬ナリ大サ超拇指頭大ニシテ臍トハ炎症性癒着著明ナリ, 胃ノ略々中央ヨリ幽門輪ヲ去ル凡3 糎ノ十二指腸ニ至ル間ノ血管ヲ結紮シ次第癒着ヲ剝離スルニ癒着ハ相當緊密ニシテ出血中等度ニアリ幽門部内腔ハ殆ド無シ。次デ此部ヲ切除シ十二指腸斷端ハ巾着縫合ニテ閉鎖ス胃切斷端ハ Treitz 氏靱帶ヲ距ル約40 糎ノ空腸ト端側吻合ヲ行ヒ吻合上方ノ胃部ニ腸ヲ縫ヒ付ク, 吻合口ハ凡3 横指徑ナリ吻合ハ第1 次粘膜粘膜, 第2 次漿膜筋層漿膜筋層縫合ナリ。同吻合ヨリ約7 糎ニテ Braun 氏空腸空腸吻合ヲ併施ス。腸間膜ノ裂口ハ斜ニ空腸ト縫ヒ尙大網ノ十二指腸端ノ閉鎖セシ部ニ持チ來リ保護ス。腹壁ハ上半ハ3 層下半ハ2 層ニ閉ジ。



〔経過〕 術後脈搏頻數ナルモ整調ニシテ緊張中等度ナリ呼吸安靜ニシテ意

識明瞭ナリ。第2 日脈搏整調強實ナルモ呼吸促迫シ體溫38 度5 分アリ肺炎ノ徴ヲ認ム依テ肺炎球菌 L コクチゲン⁷ 0.5 託注射, 此ノ日 L カルビス⁷ 1 合ヲ飲ム。第3 日呼吸安靜トナリ一般狀態佳良, 體溫37 度5 分ニ降下ス肺炎球菌 L コクチゲン⁷ 1.0 託注射, 局處所見ニ異常ナシ, 此日重湯1 杯半 L カルビス⁷ 半合飲ム。第4 日一般狀態佳良, 脈搏整調強實, 食慾良。第5 日一般狀態佳良, 此日粥2 杯, 卵黃5 個 L カルビス⁷ 5 勺ヲ攝取ス。第6 日飯1 杯, 粥4 杯, 卵2 個, L パン⁷ 1 個, L ビスケット⁷ 4 個, L カルビス⁷ 7.5 勺ヲ攝ス。第7 日腹壁創拔糸第1 期癒合ヲ營メリ其後一般狀態佳良ニシテ食慾旺盛胃部ニ膨滿感ナシ第16 日レントゲン検査, 第17 日胃液検査ヲ行ヒ全治退院ス。

〔術後レントゲン検査〕 胃ノ通過佳良ニシテ吻合部ニ狹窄ヲ證セズ胃ノ運動モ略々正常ナリL バリウム⁷ 食後15 分ニシテ大半ハ小腸ニ移行ス3 時間後ニハ胃ニハ殆ド殘留セズ。

胃 液 検 査 (術後)		
	前 液	後 液
量	30cc	60cc
色	黃色透明	黃色透明
食 物 殘 渣	+	+
遊 離 鹽 酸	—	—
總 酸 度	14	30

〔退院時所見〕 一般狀態佳良, 榮養尙全クハ恢復セズ, 脈搏整調強實, 心臟肺臟ニ著變ナシ。腹部ハ膨滿セズ陷没モセズ呼吸時ニ何等陰影運動ヲ認メズ, 劍狀突起ヨリ臍ノ下ニ至ル第1 期癒合ノ瘢痕アリ, 觸診上腫瘍ヲ抵抗ヲ觸レズ何處ニモ壓痛ナシ, 肝臟腎臟脾臟ヲ觸レズ, レントゲン検査ニテ胃ノ通過佳良ナリ。

第3 例 藤○國○郎 57 歲 男 診斷 胃癌。

手術 昭和4 年11 月20 日 轉歸 全治。

〔遺傳的關係〕 患者ノ弟ガ胃癌ニテ死亡セリ。

〔既往症〕 9 歲ト30 歲ノ時ニ, マラリヤ⁷ニ罹ル外著患ヲ知ラズ花柳病ヲ否定ス飲酒セズ喫煙中等量。

〔現病歷〕 4—5 年前ヨリ時候ノ變リ目ニ空腹時ニ上腹部ニ鈍痛アリ食事ニヨリ消失スルヲ常トス, カカル事1 週間位アリシ事アリ。本年5 月頃ヨリ同様ナル症狀起リ數日ニシテ下痢ヲ來シ上腹部ニ膨滿感アリ下痢ニ際シテハ疼痛ナク便ニ血液ヲ混ゼズ, 3 日位便秘シテ1 週間位下痢アリ8 月ニ至リ上腹部ノ鈍痛ハ去リ同時ニ全身特ニ下肢ニ浮腫ヲ來ス11 月ニ入り下痢ハ次第ニ回復シ來ル。食慾良, 睡眠良便通1 日1 行。

〔一般所見〕 體格中等大、骨骼筋肉ノ發育中等、皮膚蒼白輕度ノ浮腫アリ皮下脂肪織略々正常、粘膜貧血セリ、脈搏整調強實、眼耳鼻ニ異常ナク舌ハ苔ヲ被リ齒ハ多クハ齲齒ニシテ且ツ脱落セリ、咽頭ニ著變ナシ、心臟ハ濁音界略々正常ナルモ心音不純ニシテ大動脈第2音亢進セリ、肺臟ニ著變ナク脊柱正、四肢ニ著變ナシ。

〔局處所見〕 腹部ハ中等度ニ膨滿スルモ靜脈怒張ヤ異常ノ着色ナシ、何處ニモ限局性ノ膨隆ヲ證セズ、觸診上視診上皮膚ニ僅ニ浮腫ヲ證シ深部觸診ハ腹部ノ緊張ノタメニ不能ナルモ、右季肋部ニ抵抗アリ且ツ壓スルニ過敏ナリ、肛門検査ニテ異常ノ所見ナシ。

〔尿所見〕 淡黃色透明、反應酸性、比重1018、蛋白(一)、糖(一)、 L ヂアツォ T 反應(一)、 L インヂカン T (一)、 G メリン氏反應(一)、沈渣ニハ圓柱、赤血球菌何レモ陰性ニシテ極ク少數ノ白血球ヲ見ル。

〔直腸鏡検査〕 肛門ヨリ20糎迄ハ異狀ノ所見ナシ。

〔糞便検査〕 外觀正常黃褐色ノ有形便、潛血(一)。

〔血液検査〕 赤血球 5720000
白血球 6250
ヘモグロビン含量 60% (ザーリー氏法)

白血球ノ種類

中性多核 64%
小淋巴球 33%
大淋巴球 2%
大單核、移行型 0
 L エオデン T 嗜好細胞 1%

〔レントゲン検査〕 幽門部ニ明ナル陰影缺損アリ Bulbus ノ形態モ正常ナラズ、通過ハ稍々障碍サレ 5時間後尙 L バリウム T ノ1部残留ス。

胃液検査 (術前)

	前液	後液
量	30cc	30cc
色	白色	白色
食物残渣	+	—
粘液	+	+
反應	弱酸	弱酸
乳酸	—	—
L コンゴ T 紅反應	--	—
遊離鹽酸	0	0
總酸度	10	20

〔手術〕 20/X

型ノ如ク消毒シ L バントボン・スコボラミン T (2%1 坵) 0.25% L ネオカイン T 45坵ノ局處麻酔、手術時間 1時45分ヨリ4時40分。

手術方法。ビルロート氏第1法。

手術所見。劍狀突起ヨリ臍下ニ至ル正中切開ニテ開腹、肝臟ハ暗褐色ニシテ稍々肥大シ1—2癍痕様ノ線條ヲ認ム。胃ハ小彎ニ於テ幽門ノ上方2横指徑ノ部ヲ中心トシテ鳩卵大ヨリ稍々大ナル腫瘤アリ腫瘤ハ壁自身ナルモ内面ヲ大彎ヲ通シテ觸ルルニ鞍狀ナリ、幽門輪ノ下ニ豌豆大ノ腺腫大2個アリ軟ナリ、脾ニ異常無シ依テ型ノ如ク剝離シテ幽門輪ヨリ上方8糎 (大彎ニテ)

ノ部迄ヲ切除シ。Billroth I ニテ吻合ス、吻合セル部ハ胃ノ大彎側ニシテ縫合法ハ胃斷端ノ1部閉鎖ハ第1次粘膜粘膜、第2次漿膜筋層漿膜筋層縫合トナシ胃十二指腸吻合ハ Goepel 氏法ニ從ヒ第1次胃ノ粘膜ト腸ノ全層、第2次胃ノ漿膜筋層ト腸ノ漿膜筋層縫合ヲ施セリ。

〔経過〕 術後脈搏整調強實、頻數ナラズ安靜ニ眠ル。第2日一般狀態不良ナラズ脈搏整調強實、上腹部ハ膨滿セズ惡心(一)、嘔吐(一)、重湯少量飲ム。第3日一般狀態佳良、惡心(一)、嘔吐(一)、鼓腸(一)、上腹部膨滿(一)。第4日脈搏強實整調、惡心(一)、嘔吐(一)、放屁(+), 食慾佳良。第5日一般狀態佳良、正中線ノ自發痛無シ。第6日一般狀態佳良。第7日拔糸第1期癒合ヲ營ム。第8日一般狀態佳良、胃部停滯感ナシ第17日ハ退院。

胃 液 檢 査 (術後)

	前 液	後 液
量	40cc	40cc
色	黃色	黃色
食 物 殘 渣	+	+
粥 化	稍々不良	稍々不良
反 應	弱酸性	弱酸性
粘 液	+	—
潜 血	—	—
乳 酸	—	—
膽 汁 色 素	—	—
遊 離 鹽 酸	0	0
總 酸 度	6	4

〔術後レントゲン検査〕 吻合部ノ通過障礙ナシ、胃ノ運動ハ正常ヨリ稍々弱シ、陰影缺損ナシ小腸ニ著變ヲ見ズ。

〔退院時所見〕 一般狀態佳良、食慾稍々佳良、脈搏整調強實、呼吸安靜、心臟肺臟ニ著變ナシ四肢ニ異狀無ク腱反射正常ナリ、腹部ハ膨滿セズ又陷沒モセズ、劍狀突起ヨリ臍ノ直下迄正中切開ノ瘢痕アリ第1期癒合ヲ營メリ。診觸スルニ瘢痕部ノ輕抵抗ノ外ニ異常ノモノヲ觸レズ壓痛ナシ只一般ニ腹筋ハ術前ノ如ク緊張セリ、尙腫瘍ノ組織學の所見ハ腺癌ナリキ。

以下煩雜ヲ避クルタメニ例症ヲ一括表示スレバ次ノ如シ。(自昭和3年10月至昭和5年12月)

第2表 新縫合法ヲ施シタル例症

例症	姓名	年齢	性	診 斷	手 術 々 式	縫合法	術 後 ノ 經 過				轉 歸
							惡 心	嘔 吐	腹 痛	胃 部 膨 滿 感	
1	下 田	30	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIIK)	新法					第1期癒合 全 治 退 院
2	山 本	70	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIIK) 横行結腸一部切除術	新法	第2日惡心 アリ	第2日嘔吐 アリ			第1期癒合 全 治 退 院
3	野 村	73	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIIK)	新法		第3日黑褐色 少量1回吐出セリ			第1期癒合 全 治 退 院
4	辻 内	53	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIIK+B)	新法		第2日珈琲 様嘔吐1回 アリ			第1期癒合 全 治 退 院
5	毛 利	44	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIIK)	新法					第1期癒合 全 治 退 院
一	荒 井	41	♂	胃 癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法		第2第3日淡 褐色液少量 嘔吐アリ			第1期癒合 輕 快 退 院
6	中 島	24	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIIK+B)	新法					第1期癒合 全 治 退 院
二	上 池	37	♂	胃 癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 輕 快 退 院
7	岡 本	55	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIIW+B)	新法					第1期癒合 全 治 退 院
8	加 藤	30	♂	胃下垂症	胃 切 除 術 (BIIW+B)	新法					第1期癒合 全 治 退 院
三	天 野	50	♀	胃 癌	幽門部曠置術 Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 未 治 退 院

9	篠田	66	♀	胃癌	胃切除術 (BIK)	新法					第1期癒合 全治退院
四	菊池	70	♂	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 Braun氏副吻合術	新法	第2第3日惡 心アリ	第3日蛔虫 1條吐出			第1期癒合 輕快退院
五	藤原	47	♀	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 輕快退院
10	原田	34	♂	良性幽門 狹窄 (胃潰瘍)	胃切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
11	吉岡	57	♀	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	新法		第6日ヨリ 嘔吐初マリ 通過障礙ノ 症狀ヲ認ム			第18日再手術 大網癒着 ノタメ空腸 通過障礙 15日後腎盂 炎ニテ死亡
12	吉田	56	♂	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	新法					衰弱回復セ ズ第6日死 亡
六	岸田	40	♂	脾臓癌	Hacker氏胃腸吻合術	新法					第1期癒合 衰弱加ヘリ 第16日死亡
13	中村	55	♂	胃癌	胃切除術 (BI)	Goepel 氏法					第1期癒合 全治退院
14	石田	54	♀	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
15	山崎	63	♂	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 第50日試験 開腹 全治退院
七	南	44	♀	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 輕快退院
八	井上	45	♂	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法		第3日赤褐 色ノ吐物少 量アリ			第1期癒合 第9日急死
16	古匠	54	♂	癥瘕性幽 門狹窄	胃切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
九	島津	51	♂	胃癌	Hacker氏胃腸吻合術	新法					衰弱回復セ ズ第2日死 亡
17	大管	58	♂	胃癌	胃亞全切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
18	石田	21	♂	胃下垂症 十二指腸 移動症	胃切除術 (BIK+B)	新法	第3日惡心 アリ	第3日嘔吐 2回膽汁様 物吐出			第1期癒合 全治退院
一〇	中村	26	♂	十二指腸 潰瘍	Hacker氏胃腸吻合術	新法					第1期癒合 輕快退院
19	古池	47	♂	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
20	大島	51	♂	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 第11日急死
21	崎谷	44	♂	幽門狹窄 (胃潰瘍)	胃切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 全治退院

二	幡	41	♂	胃 癌	幽 門 部 噴 嚏 術 Krönlein 氏胃腸吻合術 + Braun 氏副吻合術	新法					第 1 期癒合 輕 快 退 院
22	西 村	32	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
23	松 本	51	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
24	小 堀	19	♀	胃下垂症	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
三	東	58	♂	幽門狭窄	Wölfler 氏胃腸吻合術 + Braun 氏副吻合術	新法		第 3 日嘔吐 アリ			第 1 期癒合 第 12 日衰弱 回復セズ死 亡
25	足 立	45	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
26	森	60	♀	胃潰瘍 胃下垂症	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
三	玉 櫛	53	♂	胃 癌	Wölfler 氏胃腸吻合術 + Braun 氏副吻合術	新法		第 8 日嘔吐 アリ		第 4 日膨 滿感アリ	衰弱加ハリ 第 13 日死亡
四	中 西	59	♂	胃 癌	Wölfler 氏胃腸吻合術 + Braun 氏副吻合術	新法					第 1 期癒合 未 治 退 院
五	安 田	52	♂	胃 癌	Wölfler 氏胃腸吻合術 + Braun 氏副吻合術	新法					第 1 期癒合 輕 快 退 院
六	岩 尾	50	♂	胃 癌	Wölfler 氏胃腸吻合術 + Braun 氏副吻合術	新法					第 1 期癒合 輕 快 退 院
七	藤 本	57	♂	胃 癌	Wölfler 氏胃腸吻合術 + Braun 氏副吻合術	新法					第 1 期癒合 未 治 退 院
27	松 本	20	♀	内臓下垂 症	胃 切 除 術 (BIK)	新法	第 3 日惡心 アリ	第 3 日嘔吐 2 回アリ			第 1 期癒合 輕 快 退 院
28	廣 瀬	48	♀	胃 癌	胃 切 除 術 (BIK)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
29	武 田	50	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
六	平 野	58	♂	胃 癌	Wölfler 氏胃腸吻合術 + Braun 氏副吻合術	新法					第 1 期癒合 未 治 退 院
30	矢 倉	54	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
31	出 射	48	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
32	鳥 羽	38	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
33	原 田	35	♂	胃潰瘍	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法					第 1 期癒合 全 治 退 院
34	伊 藤	68	♂	胃 癌	胃 切 除 術 (BIK+B)	新法		術後嘔吐 2 回アリ第 2 日モ嘔吐アリ			第 1 期癒合 衰弱回復セ ズ第 9 日死

元	西原	50	♀	Vater氏 乳頭部癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術 + 結腸後臍囊空腸吻合術	新法					第1期癒合 輕快退院
二	木村	36	♀	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					衰弱加ハリ 第14日死亡
35	宮崎	43	♀	幽門狹窄 十二指腸 潰瘍	胃切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
三	下戸	54	♂	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 未治退院
三	澤頭	45	♂	胃癌	幽門部噴置術 Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法		第2日黒赤 色液少量吐 出嘔難アリ			第1期癒合 輕快退院
36	佐伯	47	♂	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
37	前川	51	♂	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	新法		第2日胆汁 様液少量吐 出			第1期癒合 全治退院
三	澤井	60	♀	胃癌	Hacker氏胃腸吻 合術	新法					第1期癒合 輕快退院
四	坂	58	♂	胃癌	幽門部噴置術 Könlein氏胃腸吻 合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 輕快退院
五	西山	35	♂	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 未治退院
六	泉	43	♂	胃癌	Hacker氏胃腸吻合術	新法					衰弱回復セ ズ第3日死 亡
七	松下	51	♂	胃癌	Hacker氏胃腸吻 合術	新法					第1期癒合 輕快退院
八	三和	48	♀	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 輕快退院
九	森田	47	♀	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 輕快退院
三	春日井	54	♂	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 輕快退院
38	家垣	34	♂	胃癌	胃切除術 (BIK)	新法					Katatonie 起リ第13日 死亡
39	森下	49	♂	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
40	増田	38	♂	胃癌	胃切除術 (BIK+B)	新法*					第1期癒合 Ⅲ再手術、 腸間膜裂口 ニテ腸狹窄 衰弱死亡
41	寺家	66	♂	幽門狹窄 膽石症	胃切除術 (BIK+B) 徑十二指腸膽石 摘出術	新法				第2日腹 部緊張感 アリ	腹創1部化 膿全治退院

42	山口	31	♂	十二指腸潰瘍	胃切(除)術 (BIHK)	新法					第1期癒合 全治退院
43	上田	48	♂	胃癌	胃切(除)術 (BIHK)	新法					第1期癒合 全治退院
44	田中	45	♀	胃癌	胃切(除)術 (BIHK)	新法	第2日第3日 悪心アリ				第1期癒合 全治退院
45	糸井	54	♀	胃癌	胃切(除)術 (BIHK)	新法*	第2日第3日 悪心アリ			第10日胃 部膨満感 アリ	第1期癒合 全治退院
46	仲谷	34	♂	胃癌	胃切(除)術 (BIHK)	新法					第1期癒合 全治退院
三	宮川	22	♂	胃癌	幽門部嚢置術 胃切(除)術 (BIHK+B)	新法*					第1期癒合 輕快退院
47	安藤	36	♂	胃癌	胃切(除)術 (BIHK+B)	新法	第3日悪心 アリ	第2日嘔吐4 回第3日1回 アリ	第11日夜半突然激 腹痛悪心嘔吐腹部 膨満起リ腸閉塞ノ 症状現ル	第13日再手術腸間 膜裂開腸絞 扼ヲ起セリ 全治退院	
48	赤松	53	♂	胃潰瘍	胃切(除)術 (BIHK+B)	新法	第2日第3日 悪心アリ	第2日第3日嘔吐アリ 其後ナシ第10日ヨリ 嘔吐再ビ初マリ通過 障礙ノ症状現ハル			第15日再手術腸々吻合 ノ下ニテ癒 着強ク腸ノ 通過障礙アリ 全治退院
49	棟近	58	♂	胃癌	胃切(除)術 (BIHK)	新法*					第1期癒合 全治退院
三	天王	35	♀	胃癌	Wöhler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法		第2日胆汁 様嘔吐1回 アリ			第1期癒合 未治退院
50	花田	42	♂	胃潰瘍	胃切(除)術 (BIHK)	新法					第1期癒合 全治退院
三	西田	54	♂	胃癌	Hacker胃氏腸吻合術	新法	第2日悪心 アリ	第2日胆汁 様嘔吐少量 1回アリ			第1期癒合 未治退院
三	小倉	59	♂	胃癌	Hacker氏胃腸吻合術	新法					第1期癒合 未治退院
51	赤松	41	♂	胃並ニ十二指腸潰瘍	胃切(除)術 (BIHK)	新法		第2日珈琲 様嘔吐アリ 第3日胆汁 様嘔吐1回 アリ			第1期癒合 全治退院
三	山田	61	♂	胃癌	Wöhler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 輕快退院
三	谷村	59	♂	胃癌	Wöhler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 輕快退院
52	徳山	48	♂	胃癌	胃切(除)術 (BIHK)	新法					第1期癒合 全治退院
53	瀧野	61	♂	胃癌	胃切(除)術 (BIHK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
54	大西	18	♀	胃下垂症	胃切(除)術 (BIHK+B)	新法	第5日悪心 アリ	第5日嘔吐 アリ			第1期癒合 全治退院

毛	吉村	53	♀	胃癌	Hacker氏胃腸吻合術	新法					第1期癒合 軽快退院
55	本岡	44	♂	胃癌	胃切除術 (BIIM)	新法					腹創1部 化膿退院
56	佐古	24	♀	胃潰瘍	胃切除術 (BIHK)	新法					第1期癒合 全治退院
57	畑林	40	♂	胃癌	胃切除術 (BIHK+B)	新法	第3日第4日 悪心アリ				第1期癒合 全治退院
元	北村	58	♂	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 軽快退院
58	福谷	48	♂	胃潰瘍	胃切除術 (BIHK)	新法					第1期癒合 全治退院
59	前川	59	♂	胃癌	胃亞全切除術 (BIHK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
60	小笠原	58	♂	胃癌	胃切除術 (BIIM)	新法	第2日吃逆 アリ				第1期癒合 全治退院
元	田中	43	♀	十二指腸潰瘍	Hacker氏胃腸吻合術	新法					第1期癒合 軽快退院
61	藤田	62	♂	胃癌	胃切除術 (BIHK)	新法					第1期癒合 全治退院
器	立田	46	♂	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 軽快退院
四	山下	50	♂	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法	第2日吃逆 アリ				第1期癒合 「チブス」ニ テ内科輕室
62	松田	45	♀	胃癌	胃切除術 (BIHK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
63	森	56	♂	胃癌及ビ Raynaud氏病	胃切除術 (BIHK+B)	新法	術後悪心アリ 第3日悪心アリ	第3日嘔吐 アリ			第1期癒合 全治退院
器	越川	50	♂	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法					第1期癒合 軽快退院
64	井上	61	♀	胃潰瘍	胃切除術 (BIHK+B)	新法					第1期癒合 全治退院
65	島津	56	♀	胃癌	胃切除術 (BIIM)	新法	第2日悪心 アリ	第3日少量 嘔吐1回アリ			第1期癒合 全治退院
66	大橋	37	♂	良性幽門狹窄	胃切除術 (BIHK)	新法					第1期癒合 全治退院
67	徳西	51	♂	胃癌	胃亞全切除術 (BIHK)	新法					第1期癒合 全治退院
器	中村	48	♂	胃癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法	第3日悪心 吃逆アリ	第4日嘔吐1 回リア			第1期癒合 軽快退院
68	宮田	46	♂	胃癌	胃亞全切除術 (BIHK)	新法				第4日胃 部膨満感 アリ	第2日ヨリ 肺炎ヲ起シ 第6日死亡

器	戸 田	39	♂	胃潰瘍	Hacker氏胃腸吻合術 + 胃交感神経切除術	新法		第8日嘔吐2 回アリ		第1期癒合 全 治 退 院
望	島 本	62	♂	胃 癌	Hacker氏胃腸吻合術	新法	第2日惡心 アリ			第2週ヨリ 下痢起リ第 37日ニ衰弱 死亡
69	西 浦	51	♂	胃潰瘍	胃 切 除 術 (BIIM)	新法	第2第3日惡 心アリ	第3日嘔吐 アリ		心臓衰弱加 ハリ第4日 死亡
70	後 藤	37	♂	胃潰瘍	胃 切 除 術 (BIIK)	新法	第2日惡心 アリ			第1期癒合 全 治 退 院
哭	佐 藤	29	♂	胃潰瘍性 幽門狭窄	Hacker氏胃腸吻合術	新法				第1期癒合 全 治 退 院
宅	原	52	♂	胃 癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法				第1期癒合 輕 快 退 院
哭	岩 佐	32	♀	胃癌並ニ 膽石症	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術 膽嚢切開膽石摘出術	新法*				第1期癒合 輕 快 退 院
哭	大久保	50	♀	胃 癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法				第1期癒合 輕 快 退 院
吾	國 澤	34	♀	胃 癌	Wölfler氏胃腸吻合術 + Braun氏副吻合術	新法				第1期癒合 輕 快 退 院
五	池 田	32	♂	胃潰瘍性 幽門狭窄	Hacker氏胃腸吻合術	新法				第1期癒合 全 治 退 院

* 胃腸吻合ノ際前側ノミ Goepel 氏法ニ據リシモノナリ

以上ハ胃腸吻合ニ際シ特ニ新縫合法或ハ Goepel 氏縫合法ヲ試ミシ症例 (124例)ニシテ其内
胃切除術ヲ施行セシモノハ70例ナリ。

尙胃斷端閉鎖縫合法ハ總テ新法ヲ施シタルモ Braun 氏副吻合術ハ總テ Albert 氏縫合法ヲ行
ヘリ。

胃腸吻合術トシテハ Hacker 氏胃腸吻合術, Wölfler 氏胃腸吻合術, Billroth II ノ際ニ於ケル
胃腸吻合術, Billroth I ノ際ニ於ケル胃腸吻合術, 幽門部曠置術ノ際ニ於ケル胃腸吻合術,
Roux 氏胃腸吻合術等有ユル型式ノ胃腸吻合ヲ網羅セリ。

但シ表中*印アルハ胃腸吻合ニ際シ後側ノ縫合ハ第1次粘膜粘膜, 第2次漿膜筋層漿膜筋層縫
合ヲ行ヘルガ前側ハ第1次胃粘膜腸全層, 第2次漿膜筋層漿膜筋層縫合ヲ施シタル症例ナリ。

尙表中胃切除術トセルハ幽門部切除術及ビ胃ノ大半ノ切除術ヲ含ムモノナリ。

BI=Billroth I ヲ行ヒタルモノ

BIIK= Billroth II ノ Krönlein-Mikulicz 氏變法ヲ行ヒタルモノ

BIIK+B=同上ニ Braun 氏副吻合術ヲ併施セルモノ

BIIM=Billroth II ノ Mayo 氏變法ヲ行ヒタルモノ

BIIH= Billroth II ニヨリ胃切除術ヲ行ヒ胃殘部ト空腸トノ間ハ Hacker 氏吻合術ヲ行ヒ

タルモノ

BIIW+B=同ジク胃殘部ト空腸トノ間ハ Wölfler 氏吻合術ヲ行ヒ更ニ Braun 氏副吻合術ヲ併施シタルモノ

BIIR=同ジク胃殘部ト空腸トノ吻合ハ Roux 氏法ヲ行ヒタルモノ

尙表中經過欄ノ空欄ハ陰性所見ヲ省略セルモノニシテ不明ヲ意味セズ。

所 見 概 括

以上新縫合法ヲ施シタル 124例中胃切除術70例ニ就キ討檢スルニ術後惡心ヲ訴ヘタルモノハ 13例(18%)ニシテ此内「イレウス」症狀ヲ呈シタル2例ヲ除外セバ11例(16%)トナル。又嘔吐ヲ來シタルハ15例(21%)ニシテ同様「イレウス」ノ3例ヲ除外セバ12例(17%)ナリ。更ニ腹痛ヲ起シタルハ1例(1.4%) アルモコレハ「イレウス」例ナリ。胃部膨滿感ヲ訴ヘタルモノ2例(2.8%)ヲ認ム。尙縫合部ヨリノ後出血ヲ思ハシムル珈琲殘渣樣液ヲ吐出シタルハ3例(4.3%)ニシテ而モ吐物ハ極ク少量ナリキ。

新舊兩縫合法例症ノ比較考察

胃切除術ニ際シ新舊兩縫合法ヲ行ヒタル例症ノ術後ノ經過ヲ一括表示スレバ第3表ノ如シ。

第3表 胃切除ニ於ケル新舊兩縫合法ノ比較

	舊 法	新 法
惡 心	20%	16% (<u>イレウス</u> ヲ除外)
嘔 吐	37%	17% (<u>イレウス</u> ヲ除外)
腹 痛	20%	0 (<u>イレウス</u> ヲ除外)
胃 部 膨 滿 感	33%	2.8%
後 出 血	30%(下血ヲ加フ)	4.3%

即チ新法ニアリテハ舊法ニ比シ術後ノ惡心ハ2%ノ減少トナリ「イレウス」ヲ起シタル2例ヲ除外セバ4%ノ減少ナリ。又嘔吐ヲ來シタルモノハ16%ノ減少ヲ示シ殊ニ「イレウス」ノ3例ヲ除外セバ20%ノ減少トナル。後出血症狀ノ減少ニ至リテハ實ニ顯著ニシテ 30%ヨリ 4.3%ニ低下セリ。

一體胃切除術又ハ胃腸吻合術ノ際ニ於ケル吻合口ノ通過狀態ハ必シモ吻合部ノ縫合法如何ニヨツテノミ左右サルルモノニアラザルハ言フ俟タズ、吻合口ノ大サ、吻合ノ型式其他ニ職由スト雖モ吻合部ノ縫合法如何モ亦重大ナル關與ヲ有スルコトハ明白ナリ。

新法ニ於ケル再手術ノ3例ヲ見ルニ胃腸吻合部ノ狹窄ヲ證明シタルモノハ1例モ無ク何レモ胃腸吻合部以下ニ於テ癒着又ハ絞扼ノタメニ通過障礙ヲ招來シタルモノノミナリキ。尙術後ノレントゲン線検査ニヨルモ特ニ胃腸吻合部ニ狹窄ヲ認メズ何レモ吻合部ノ通過佳良ナルヲ確認セリ。

又縫合部ヨリノ後出血ノ徵デアル術後第2乃至第3日ノ赤褐色又ハ珈琲殘渣樣液ノ吐出ヲ認メ

タルモノハ25.7%ノ減少ヲ示シ更ニ舊法ニ於ケル下血ノ2例ヲ加フレバ實ニ新法ハ舊法ニ比シ32.7%ノ減少トナル、新法ニテハ特ニ大ナル後出血ヲ思ハシムルモノハ絶無ナリキ。

胃部膨滿感ヲ訴ヘタルモノハ新法ニテハ舊法ニ比シ31.2%ノ激減ヲ示セリ。

腹壁創部ノ自發痛壓痛ノ他ニ特ニ腹痛胃痛ヲ訴ヘタルモノハ新法ニテハ「イレウス」ノ1例以外ニハ無カリキ。

更ニ縫合部ノ破綻又ハ穿孔—ヨル腹膜炎ヲ疑フベキ症例ハ新舊兩法共ニ1例モ無ク、又術後消化性潰瘍ヲ確認シタル症例ハ無キモ舊法ノ際ニ於ケル術後8日目迄モ珈琲残渣様液ヲ再三嘔吐セシ第6例並ニ術後9日目迄モ便ニ陳舊血液ヲ混ジタル第18例ノ2例ハ縫合部ノ1部消化性潰瘍トナリタルヤモ計リ難シ。

以上詳述セシ如ク新縫合法ノ結果ハ第1報ニ於ケル動物實驗並ニ本報告ニ於ケル臨牀成績共ニ顯著ニ佳良ニシテ胃腸吻合ニ際シ特ニ胃切斷端ノ縫合ニ際シテハ舊法ヲ棄テテ新法ヲ採用スベキモノナルコトノ確信ニ到達ス。

結 論

1. 胃腸吻合術ニ際シテ臨牀上烏渦教授ノ新縫合法即チ第1次粘膜粘膜、第2次漿膜筋層漿膜筋層縫合又ハ Goepel 氏ノ第1次胃粘膜腸全層、第2次胃漿膜筋層腸漿膜筋層縫合ヲ施シタル—

- (1) 著明ナル後出血ヲ認メズ。
- (2) 縫合部ノ破綻又ハ穿孔ヲ見ズ。
- (3) 吻合口ノ狭窄ヲ招來シタルモノ無シ。
- (4) 術後消化性潰瘍ノ發生ヲ見ズ。

2. 廣汎ナル胃切除ニ於テハ胃空腸端側吻合ヲ行ハザル可カラズ、此際胃斷端ノ餘裕少キタメ特ニ本縫合法有利ナリ、斯カル場合ノ切除術式トシテ大澤博士ノ改良セル術式(1928年、日本外科實験、第5卷、第4號、第166頁)ノ術後經過ハ本縫合法ト相待チテ良好ナル成績ヲ示シタリ。

3. 胃切除術ニ於テ胃斷端ノ閉鎖縫合法ニ向ツテ舊法ヲ施シタルモノト新法ニヨリシモノトノ臨牀治驗成績ヲ比較セシニ舊法ニテハ術後惡心、嘔吐、腹痛、胃部膨滿感、後出血等ノ%數新法ニ比シ何レモ顯著ニ大ナリキ特ニ嘔吐ハ舊法ニテ37%、新法ニテ17%、胃部膨滿感ハ舊法ニテ33%、新法ニテ2.8%、後出血ハ舊法ニテ30%、新法ニテ4.3%ヲ示シ新法ノ卓越セルコトが確實ニ立證セラレタリ。

4. 胃腸吻合術特ニ胃切斷端ノ閉鎖ニ向ツテハ舊法ヲ棄テテ新法ヲ採用スベキモノナリ。